



安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう

投票に行こう！ 1月24日は市長選・補欠市議選

子どもや孫の時代を見据えた判断を！

あなたの大切な一票を

210床10診療科の市立病院づくりに活かそう！

遅ればせながら“謹賀新年”

1月17日、市長と補欠市議の選挙が告示されました。ちょうど4年前の選挙により、生駒市はそれまでの箱物尊重、利権にまみれた中本市政からの脱却を図ることになりました。

私は生まれてからずっと生駒で暮らし、また、生駒総合病院で10年以上皮膚科医として勤務。閉院後、後医療について中本時代の生駒市と交渉を重ねていくうちに、『生駒市政はどこかおかしい』と感じ始めました。

決して後戻りさせてはいけません！

中本時代に、駅前にはデパート、北南の立派なコミセン、芸術会館美楽来等ができ、生駒は近代的になりました。しかし、その建設に多額の税金が投入され、市の借金（市債）は膨らみ、当時の市長・議長による収賄事件や当時の市長による公金横領も起きました。今回の選挙では不正を生み出した中本時代に『決して逆戻りさせてはいけません！』と考えます。

一方、市民の命と健康を守る医療の充実の後戻りにされてきました。総合病院閉院からまもなく5年です。まだ新病院は整備されず、去年は、救急患者の受け入れ拒否が相次ぎました。

え?! 指定管理者に大学病院?

地域の病院から医師を引き上げているのに!

市立病院計画は昨年、病院を設置するための条例が制定され、後は市議会が指定管理者を決定すれば実現する運びとなりました。今回の市長選では3候補がそれぞれ異なる考え（徳洲会、大学病院、再公募）を示しています。多くの公立病院では、大学病院の医師不足に起因する大学からの派遣医師の引き上げにより、診療科の縮小・廃止や閉院を余儀なくされています。どこの大学病院を予定しているのでしょうか?

210床10診療科の市立病院を実現できる市長を選ぼう! 議員を選ぼう!

今年こそ、新病院実現を確実なものにし生駒を安心安全な街にしたいものです。そのためには、210床10診療科の市立病院を実現できる市長と議員を選んでください。生駒が安心して暮らせる街になるか否かは、みなさんの一票にかかっています。

生駒市立病院計画

後は指定管理者の決定だけね!



指定管理者方式の新設市立病院は全国で初めてのケース。財政を圧迫しない持続性のある計画。市民参加による市民のための病院実現に向けて一日も早く議会は指定管理者を判断して欲しい!

どんな計画?

条例により、東生駒駅の南側に210床10診療科の指定管理者制度を利用した公設民営の病院を建設することが定められている。市立だが、運営はノウハウのある指定管理者(市は2年前、徳洲会に内定したが、市議会は判断するには時期尚早等の理由で否決p3)に任せる。建設費と借地代は市の負担。医師・看護師の確保、医療機器の整備は指定管理者が担当。赤字補てんは行わない。建設費には起債を充てるが国からの交付税参入や指定管理者からの減価償却費相当分の納入により市の持ち出しはゼロ。市民、医師会、議員、識者などからなる病院事業推進委員会で3年ごとに事業計画を見直すことも条例に定められている。

～市立病院問題～

*病院設置条例 正式名称は『生駒市病院事業の設置等に関する条例』

これまでの経緯と平成21年秋からの予定は・・・しかし・・・

17年3月 生駒総合病院閉院
医師会、新病院開設を要望(20年までに5回)
秋 新病院の早期開設のため、市、市議会が委員会設置
18年1月 山下市長初当選
19年1月 市長の諮問委員会が新病院の基本計画を作成
11月 運営主体を全国に公募し徳洲会だけが応募
20年1月 市は指定管理者を徳洲会、場所を東生駒駅前に内定
2月 事前協議書(266床)提出
7月 市立病院の早期開設を要望していた生駒市医師会が
全市議会議員に病院に反対する書面を送付
21年2月 県、生駒市立病院に210床配分
6月 病院設置条例*可決

21年10月 推進委員会設置 県から病床が配分され条例制定も終えたことから、市は10月、病院事業推進委員会(推進委)を設置し、以後の予定を示しました。予定通りいけば年内に開設許可申請も終え、病院計画は一挙に進むはずでした。

予定

- ・推進委から11月中に答申を得る。
- ・12月議会で指定管理者議案と予算を承認してもらう。
- ・12月中に開設許可申請をする。



しかし、推進委の休止により予定通り運ばなくなりました。以下に詳細

医師会委員の辞任により、申請手続きは困難な状況へ・・・

病院事業推進委員会(推進委)開催、しかし、医師会委員の辞任により推進委休止! どうして?

まり子ニュース21年8月号では推進委の設置が危ぶまれると紹介。しかし、医師会からも委員が派遣され、10月10日、第1回推進委を開催し、市長は11月中を期限として『病院事業計画』を諮問。第2回終了後、県医師会委員が辞任し委員会は休止。同委員の再任により再開。第4回委員会では病院事業計画の審議をほぼ終了。次回は答申が出るという直前、地区と市の医師会委員の辞任により推進委は再度休止。納得できる辞任理由は述べられず。

推進委休止は条例に問題有り!

3市民、条例改正を求める請願を提出!

4回開催された推進委は深夜まで及ぶこともありました。私は欠かさず傍聴。毎回、市民も審議の様子を傍聴。1月余りの内に2回も委員会が休止に陥ったのは条例に問題があるとして、11月25日、3市民が市議会に「生駒市病院事業の設置等に関する条例」の改正を求める請願書(右)を提出。しかし、12月議会ではこれを不採択にしました。

市は事前協議書提出

市は審議内容をまとめ、病院事業計画を作成。12月1日に開かれた病院特別委員会で、市は同計画をもとに開設許可申請のための事前協議書(210床)を作成したことを報告し、12月2日に県に提出しました。

医師会委員の辞任により市の病院事業が進まないのは大問題!

「生駒市病院事業の設置等に関する条例」の改正を求める請願書

要旨 平成21年6月議会で成立した生駒市病院事業の設置等に関する条例の第17条の4には、生駒市病院事業推進委員会の「委員には、奈良県医師会、生駒地区医師会及び生駒市医師会をそれぞれ代表する者を含む」とあるため、これら3医師会からの委員が選任されない場合には委員会そのものが成立しません。これでは、これらの民間団体の意向によっては生駒市病院事業という公務が執行できない事態が生じることとなり、これは同条例の重大な欠陥と言わねばなりません。かかる事態を避けるために、平成21年12月議会において、生駒市病院事業推進委員に奈良県医師会、生駒地区医師会及び生駒市医師会を代表する者を指定した条項を、特定の民間団体の代表を委員として指定しない条項に改正することを請願いたします。

議員提案により医師会委員が辞任すると休止する委員会に設定された! なぜ?

6月議会に推進委の設置を盛り込んだ病院設置条例修正案が提案された際、今回のような休止に至る事態が想定されました。このため議会は紛糾。提案者の樋口議員は、『反目状態の市と医師会が話し合うためには医師会委員を必須構成委員とする必要がある、問題が生じたら議会も問題解決に取り組む』と答弁。私は不安を抱きながらも条例の可決が先決と考え賛成しました。条文中に

3医師会名を明記しているので医師会委員の辞任により委員会は休会します。医師会委員にだけ委員会の成立を左右する権利を与え、委員間の公平性を失わせ、その結果、公務を執行できなくなる条文は改正が必要です。私は改正案を議案として提出する予定をしていますが、市民の声を届けるのが重要と考え、提出を見送り請願の紹介議員になりました。

12月議会 病院関連3議案否決！ 年内の開設申請は困難に！

3議案は委員会審議抜きに本会議で採決！？

市長は徳洲会を指定管理者とする議案と病院関連予算2議案の計3議案を提出。議案の取り扱いを決める議会運営委員会では、委員会で審議せず10日の本会議でいきなり採決することを、多数決で、決定。議案審議の機会を奪うこのような決定に私は納得できません。

本会議では 実質的討論もなく、病院関連3議案否決！

10日、指定管理者議案については、1議員が徳洲会に対する疑念が払拭できていないことをあげたほかは、2議員が、推進委の“答申”が出ていないのに市が事前協議書を提出した手続きは問題、医師会との関係悪化が懸念される、市長の手法に対する疑念等の理由で反対しました。私は徳洲会が指定管理者としてふさわしいと考えていることに加え、救急医療、小児科医療などの充実には病院開設が必要であること、市民は早期開設を求めていること、新病院計画は4年も前から検討されていること、医師会との関係改善を前提として申請の期限が切れることなど、賛成の立場から意見を述べました。しかし、討論の機会はなく、そのまま採決。市民派クラブと共産党の8議員が賛成しただけで、3議案とも否決になりました。

市は徳洲会が指定管理者になることを前提として県との間で事前の協議をしていましたが、議会が指定管理者も予算も否決した結果、年内の病院開設許可申請が出来なくなりました。

年内に申請できず！

通常、病床配分から1年以内の開設許可申請が必要で！ その期限はこの2月！

反対議員は今からどのようにして条例に定めた病院事業を推進していくのか？

市立病院を実現するか否か、 市長選で市民が問われている！

奈良県では5年に1度見直される医療計画が今年4月に発効する予定です。市立病院の病床は現行の医療計画の枠内で配分されたため、新しい医療計画が発効すると210床は消滅すると思われます。期限は本年度中。4年前から検討してきた新病院計画。昨年、病院設置に必須である“条例”も可決しました。開設の申請期限に間に合わず病床配分が消滅し、病院が出来ないという事態があらはなりません。そのためには**指定管理者の決定が必要**です。救急医療、小児科医療の充実だけでなく、疾病予防、健康増進など様々な施策の充実に役立つ病院を1日も早く実現したい。今回の市長選で市民自身が問われています。



市民の請願も不採択になる！

請願者は医師会を委員から外すことを目的としたのではなく、条例の欠陥により市の事業が遂行出来なくなることを問題視して提出したのですが、条例の改正を求める請願は3議案同様、賛成は8人のみで不採択になりました。**問題条文を改正できず残念です！**

10月の県医師会委員辞任時は、再開まで約2週間を要しただけでなく、一度行った議論を再度行うなど委員会運営をゆがめることになり、その結果委員長は運営に責任を持ってないと辞任しました。医師会といえども民間団体。その意向によっては病院事業という公務を執行できない事態にもなるのです。このような条文は即刻改正すべきです。

**まだ間に合います！
あなたの一票で市立病院
を実現しましょう！**



議員3年目の昨年はようやく仕事に慣れてきたように感じました。5月からは議会運営委員会の委員になり、議案の取り扱い等、議会の運営に対しても発言しました。

昨年は初めて議案の提出や請願の紹介議員となり趣旨説明を行いました。残念ながら、議員の賛同を得られたのは半数の提案だけでした（採否は右の通り）。また、平成20年度決算の審査に、委員として初めて加わりました。当選以来、定例会の度に一般質問をしましたが、昨年12月議会は行わず、本会議での指定管理者議案と請願の賛成討論等に力を入れました。

私が所属する市民福祉委員会には、3月と6月議会は病院設置条例、9月議会は指定管理者議案、12月議会では条例改正の請願が付託され、私も重要な審査に加わりました。病院特別委員会では、5月末、1昨年12月に提案した医師会の参考人招致が実現しました。

また、これまでから取り組んできた医療や災害だけでなく、総合計画審議会、外郭団体のあり方検討部会、環境審議会ごみ減量化専門部会、仮称「生駒市まちをきれいにする条例」検討委員会等を傍聴したり、他市の議員との合同勉強会、講演会などにも参加しました。

初めて議案を提出しました。

- | | | |
|------|----------------------------------|-----------|
| 3月議会 | 奈良社会保険病院の公的機関としての存続を求める意見書について | 可決 |
| 9月議会 | 生駒市病院事業推進委員会の早期開催と集中審議を求める決議について | 否決 |

初めて請願の紹介議員(代表者)になりました。

- | | | |
|-------|------------------------------------|------------|
| 5月臨時会 | すみやかに生駒市病院事業の設置等に関する条例(案)の議決を求める請願 | 採択 |
| 12月議会 | 「生駒市病院事業の設置等に関する条例」の改正を求める請願 | 不採択 |

一般質問：下記の問題を取り上げました。

- | | |
|------|---|
| 3月議会 | <ul style="list-style-type: none">・災害時の医療体制の整備について・生駒市立病院開設がもたらす行政施策への影響について・生駒市立病院開設と住民参加について |
| 6月議会 | <ul style="list-style-type: none">・生駒市の地域医療の現状と課題について・医師会から指摘のあった生駒市立病院計画の問題点について・地域医療を充実させるための方策について |
| 9月議会 | <ul style="list-style-type: none">・生駒市の防災対策について・新型インフルエンザ対策について |



市立病院を育てよう

今、健康で病院とは無縁の人にもいつかは病気や死と向き合う日が来ます。通常、誰も人生で1度は病院に関わることとなります。市立病院は市民がつくる病院です。その費用は私たちの税金です。借金をして、やり繰りできる範囲以上の計画を立てると、将来の世代に借金を背負わせることとなります。生駒市の市立病院計画は、これまでの公立病院では考えられなかったような身の丈にあった計画だと考えます。この病院が本当に市民の望む病院になるか否かは市民のみなさんの関わりに係ってきます。市民のみなさんは市や議会に意見を届け、市政や市議会を注視してください。届いた意見を病院運営に反映するのは、選挙で選ばれた市長や議員です。みなさんが注視し、監視すれば、市立病院はきっとみなさんにとって望ましい良い病院になることでしょう。生駒総合病院閉院から5年になるというのに、残念ながら、まだ病院の芽は出ていないのです。しっかり根を伸ばしているのに、でも土のなかで芽を出そうともがいている状態です。今回、みなさんが市立病院を実現できる市長を選ぶこと、これが、芽を出させる大きな力になります。市立病院の芽を摘み取ることなく、市民の力で育てていけば、市立病院はきっと市民の命を守り安心安全な生活を支えていけるはずですよ。

平成22年 お正月の花



(葉ボタン・ユリ・庭の南天)

ホームページとブログも
ご覧ください!
<http://www.eonet.ne.jp/~ikomanomirai>

編集後記：今年の成人式は11日。今回も前回同様 祝辞が聞き取りにくいくらいがやがやしていた。この人達がこれからの日本を支えて行くのかと思うと少し不安になった。でも、いろんな可能性を秘めた晴れ着姿の新成人を見てみると、うらやましいな、がんばりや！と声を掛けたくなった。新成人のみなさんには、民主主義は有権者が一票を大切にすることで守られることや選挙権を得るまでの先人達の苦難の道りを思い起こして欲しいと思つた。今回の選挙、新成人としては過去最高の投票率・・・そんな街になってほしい。 まり子